

平成27年度補正予算 地方創生加速化交付金事業の検証について

(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

区分	① 交付対象事業の名称	② 概要	③ 総事業費 単位：円	④ 交付金 単位：円	⑤ 事業内容	⑥ 事業費 単位：円	⑦ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
単独	高校における農業先端技術とマーケティング学習による魅力の向上と町の波及促進事業	士幌高校を中心とした特産品・加工製品の開発等を行う研究会を設置し、大学、企業等と連携した商品開発、製造、PR、マーケティング等の研究及び農業の先端技術を活用した学習環境を整備し、地域の担い手の育成、雇用の確保、定住促進に努める。	8,554,720	8,500,000	新特産品開発等調査研究 農業先端技術活用研究	3,909,600 4,645,120	指標① 農業における新たな担い手数 8 人 H29.3 2	指標② デザイン化された商品パッケージ数 1 個以上 H29.3 4	指標③ 商品化された品の数 1 個以上 H29.3 4	指標④ 指標⑤	2 4 4	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に効果があった	事業の継続	農業先端技術学習や商品開発、6次産業化に関する研修を継続して進める。
広域	十勝アクティブシニア移住交流促進事業	北海道と管内5町が連携し、50～60歳のシニア層をターゲットとした新たな人の流れを(移住・交流)の創出を図る。	11,801,718	10,800,000	空き家、空き地調査 移住フェア参加・ニーズ調査 移住専門誌への移住促進情報掲載 食と農の学習体験プログラム開発 定住促進住宅改修 農園付き住宅建設予定地の施設解体 農園付き住宅等に伴う調査及び事業計画策定	3,661,200 868,040 316,000 324,000 2,128,878 3,855,600 648,000	指標① 移住相談件数 30 件 H29.3 62	指標② 指標③ 指標④ 指標⑤			地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に効果があった	事業の継続	継続してアクティブシニアの移住促進を図る。 H29は広域での事業は行わない。	
広域	十勝アウトドアブランディング事業	帯広市を中心に管内町村が連携し、観光分野全般における推進組織を形成し、ニーズ調査、アウトドア観光メニューの開発、情報発信、プロモーションによる観光客の呼び込みに繋げるなど、十勝アウトドアDOMを作り上げる。	60,000	60,000	十勝アウトドアブランディング事業負担金	60,000	指標① 十勝管内宿泊客延べ数基準値 198.5→増加 万人 H32.3 -	指標② 十勝管内観光入込客数基準値 967→1,020 万人 H32.3 -	指標③ 十勝管内アウトドア利用者数 40,000→45,000 人 H32.3 -	指標④ 指標⑤	- - -	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に効果があった	事業の継続	十勝アウトドアDMO法人によるネットワーク強化を進める。 H29は広域での事業は行わない。
広域	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業	帯広市を中心に管内町村が連携し、起業家の育成、創業支援、リーダーの育成を行うとともに、管内情報交換、人材の掘り起こし、各種相談対応を行う総合的なコーディネート機能の整備を図る。	60,000	60,000	十勝・イノベーション・エコシステム構築事業負担金	60,000	指標① 商品化された特産品数 (H27～H28) 1 品以上 H28.3 4	指標② 指標③ 指標④ 指標⑤			地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に効果があった	事業の継続	十勝10市町村で連携し、事業双発を促進する「十勝・イノベーション・エコシステム構築事業」を実施する。	
広域	クリエイティブ人材移住促進事業	帯広市を中心に管内町村が連携し、企画・マーケティング・デザイン・広告宣伝・販路開拓等の専門的知識やスキルを持つ「クリエイティブ人材」をターゲットにした移住促進をはかるため、マーケティング調査、PRイベントの開催、Webサイトの制作等を行う。	60,000	60,000	クリエイティブ人材移住促進事業負担金	60,000	指標① 移住相談件数 (H27～H28) 80 件 H29.3 124	指標② 指標③ 指標④ 指標⑤			地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に効果があった	事業の継続	継続して各市町村で移住を促進していく。 H29は広域での事業は行わない。	

平成28年度 地方創生推進交付金事業の検証について

(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

区分	① 交付対象事業の名称	② 概要	③ 総事業費 単位：円	④ 交付金 単位：円	⑤ 事業内容	⑥ 事業費 単位：円	⑦ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
単独	しほろ創生 賑わい創出事業	民間主導の観光振興を視野に置き、本町の魅力の創出調査、特産品の事業化、6次産業における人材育成、観光に関わるデータ整理、案内情報の作成事業を実施し観光振興を図る。	20,027,736	10,000,000	観光に関する調査研究 ・特産品の選定および生産実現に向けた調査研究 ・地域の魅力再発見調査 ・6次産業化への人材育成研修 ・試作品販売の場、企業チャレンジショップのあり方に関する調査 観光案内に関するデータ整理、案内情報の作成、情報発信ホームページ作成、広告宣伝 試作品販売、起業チャレンジブース設置	4,989,600 9,152,136 5,886,000	指標① 士幌高校が主体的に行う商品開発研修やマーケティング研修等の受講修了者数 4 人 H29.3 157	指標② 新たに開発する商品(加工特産品含)数 2 個 H29.3 4	指標③ 受講修了者が地元企業で採用された人数及び創業者数 1 人 H29.3 5	指標④ 指標⑤	157 4 5	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	事業推進主体を法人化し設立。 また、士幌高校と連携し商品の企画販売、マーケティングを進める。